

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

岐阜県 美濃市

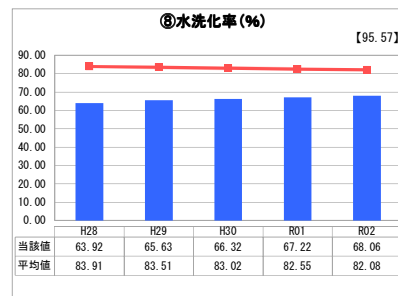
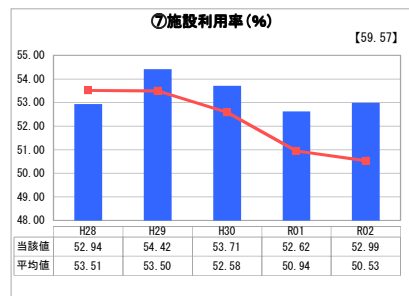
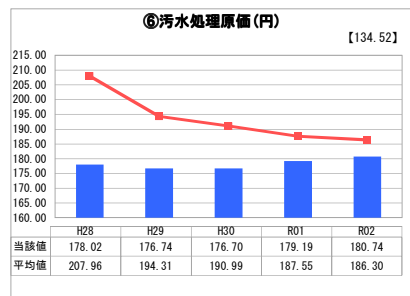
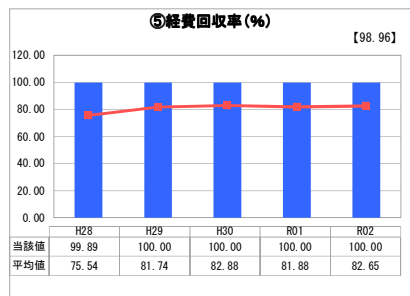
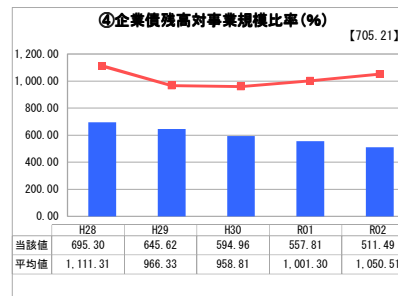
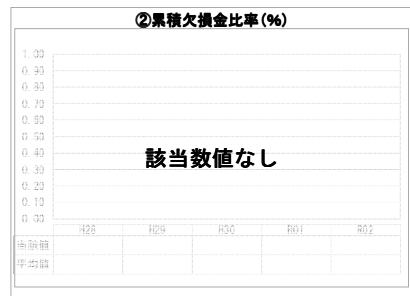
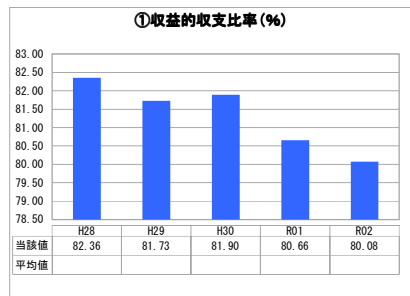
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料(円)
-	該当数値なし	75.07	75.33	3,110

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
20,162	117.01	172.31
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
15,058	5.90	2,552.20

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率  
当該値は100%を下回っており、使用料や繰入金等の総収益では地方債償還金を加えた総費用を賄いきれていません。使用料の見直し等、経営改善に向けた取組が必要です。

④企業債残高対事業規模比率  
当該値は年々減少しており、類似団体の平均値と比較しても低い状況です。これからも企業債比率を適正に維持し、財政負担の軽減・平準化を図ります。

⑤経費回収率  
今後も、汚水処理費を全額使用料で賄えるよう、適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減を図ります。

⑥汚水処理原価  
当該値は類似団体の平均値と比較して低い状況ですが、増加傾向にあるため、今後も経費の削減を図るなど、最適な処理方法を検討していく必要があります。

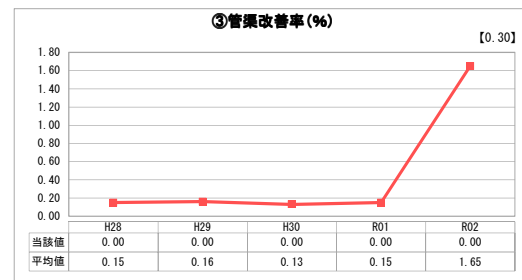
⑦施設利用率  
当該値はほぼ横ばいで推移し、類似団体と比較しても高い水準ですが、より効率的に施設を利用するため、接続率の向上を図る必要があります。

⑧水洗化率  
当該値は少しずつ上昇していますが、類似団体と比較しても低く、未普及促進アクションプランの策定や啓発活動により接続率の向上を図る必要があります。

### 2. 老朽化の状況について

供給開始は平成8年であり、現時点では管渠の更新は必要ないですが、電気・機械設備は更新時期を迎え、更新を進めている状況です。管渠の将来的な更新時期に備え、老朽化の状況や利用状況の現状データ収集・整理の必要があります。下水道施設の中長期的な維持管理計画であるストックマネジメント計画を策定し、資産の適正管理に努めます。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

公共施設の適正な配置を実現する美濃市公共施設等総合管理計画、中長期的に事業を安定して経営していくための基本方針である美濃市公共下水道事業経営戦略に基づき、経営を継続しています。下水道施設の中長期的な維持管理計画である下水道事業ストックマネジメント全体計画の策定も予定しており、老朽化する処理場施設や管渠の適正管理に努めます。今後は少子高齢化や経済活動年齢層の都市部への流出などによる急速な人口減少などによる、下水道使用料の減少や施設利用率の低下も予測されるため、農業集落排水処理事業を含む市内下水道施設の統廃合や近隣市町村との共同処理などを検討していく必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。